

下倉田地区連合会文化部主催
猿島 探検バスツアー

2020年2月23日(日)9:00~19:00
横須賀 猿島 くりはま花の国公園



日々報道されるコロナウイルスにもひるまず、44名が猿島探検バスツアーに参加した。大変よい天気の中、猿島の散策を楽しんだ。昼過ぎに「くりはま花の国公園」に到着しレストランに飛び込んだが、大変込んでいた。ポートマーケットが閉鎖中の為、午後「すかなごっそ」に向かったが大渋滞になり、閉店が迫る中、一部の参加者はバスを降り徒歩で買い物を済ませても、渋滞中のバスに間に合った。 帰路の恒例のビンゴ大会は、楽しみながら全員が商品を頂いた。





フランス積れんが建造物

Brick building of Frenish bond

日本でのれんがによる建築は、幕末の長崎に始まり、文明開化とともに全国に広がりました。しかし、そのほとんどは地震や老朽化により失われてしまいました。近年の日本建築学会の調査によると、明治20年以前のれんが建築物は、現在、全国で22件が確認されているのみです。猿島の要塞跡もそのひとつで、愛知県産の品質の高い赤れんがを用いて、明治時代中期に建造されました。

ところで、れんがの積み方は、大きくは「フランス積」と、明治20年ごろから主流となった「イギリス積」に分けられます。

この要塞はフランス積によるもので、フランドル地方(ベルギー西部～フランス北端にかけての北海沿岸)

で発達したため、正式にはフランドル積といえます。

フランス積のれんが建造物は、もともと数が少なかったこともあり、この要塞跡も含めて全国で4件が確認されているのみです。

このように猿島の要塞跡は、「エキゾチックな雰囲気」もさることながら、建築史上とても貴重な建築物といえるのです。

現存するフランス積れんが建造物

富田製氷場 (明治初期)
長崎造船所 小管ドック (幕末)
米海軍横須賀基地内倉庫 (時期不詳)

れんがの積み方
猿島要塞のフランス積れんがのトンネル

2020/02/23







